

リハビリテーションコース

専攻共通必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EJ001	生涯発達方法論基礎I	1	1.0	1	通年	随時		生涯発達専攻_M1担任	生涯発達科学研究における方法論の基礎を習得する。	
01EJ002	生涯発達方法論基礎II	2	1.0	1	通年	随時		生涯発達専攻_M1担任	生涯発達科学研究における方法論の基礎を習得する。	
01EJ003	生涯発達方法論基礎III	2	1.0	1	通年	随時		生涯発達専攻_M1担任	生涯発達科学研究における方法論の基礎を習得する。	
01EJ011	生涯発達研究法I	2	1.0	2	通年	随時		生涯発達専攻_M2担任	生涯発達科学の研究法について演習を通して具体的に指導する。	
01EJ012	生涯発達研究法II	2	1.0	2	通年	随時		生涯発達専攻_M2担任	生涯発達科学の研究法について演習を通して具体的に指導する。	

リハビリテーションコース必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EJ501	リハビリテーション概説	1	2.0	1	春AB	土4,5	2F講義室9	リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	目的・ねらい:障害児・者に対するリハビリテーションの理論と実践について、横断的・総合的な視点で各分野の概要を理解し、支援のあり方について理解を深める。 授業概要:医学、心理学、教育学、社会学等の幅広い観点から、リハビリテーションの発展過程と現代社会における定位を解説するとともに将来へのあり方を展望し、リハビリテーションの理念と実際について概説する。	生涯発達専攻リハビリテーションコース必修科目 OATE105と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。
01EJ503	リハビリテーション研究基礎論	1	1.0	1	春AB	水	2F講義室9	リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	目的・ねらい:リハビリテーション関連分野における修士論文作成のために研究法の概要を理解し、論文作成について理解を深める。 授業概要:リハビリテーション分野の研究法の基礎として、研究デザイン、学術論文の要件、臨床研究の倫理、実験計画法、調査法、観察法、面接法、質的研究法、事例研究法、文献研究法、検査法などについて概説する。 キーワード:生涯発達、生涯発達科学、研究デザイン	生涯発達専攻リハビリテーションコース必修科目 OATE106と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。
01EJ502	リハビリテーション特別研究	2	1.0	2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	目的・ねらい:修士論文の指導を通じて、これまで得られた結果をまとめて、先行文献を参照しながら考察を加え、修士論文を完成させることを目的とする。 授業概要:リハビリテーションに関する研究を、文献研究、実験実習などを通して具体的に指導する。 キーワード:修士論文、論文執筆、最終発表会	生涯発達専攻リハビリテーションコース必修科目 OATE107と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。

リハビリテーションコース専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EJ601	医学的リハビリテーション	1	1.0	1・2	春C	火7,8	2F講義室9	山田 実	目的・ねらい:さまざまな障害の医学的背景についての理解を深め、包括的なリハビリテーションを実践する能力を身につけることを目的とする。 授業概要:医学的リハビリテーションをめぐる今日的課題について、医学生物学的側面から制度的な問題まで多面的に検討し、今後のリハビリテーションのあるべき姿を考察する。 キーワード:リハビリテーション医学、精神疾患、神経疾患、当事者、チーム医療、連携	OATE201と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EJ602	特別支援教育総論	1	1.0	1・2	春C	金7,8	2F講義室9	川間 健之介, 佐島 毅	目的・ねらい:本講義では、特別支援教育の理念及び歴史、社会的・制度的・経営的事項を含めた現状を踏まえ、障害種別ごとの教育の基本的な考えを理解する。 授業概要:特別支援教育の制度、カリキュラムを踏まえて視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、及び発達障害の、その教育の理念と歴史及び現状について解説し、関連諸分野との連携について概説する。	OATE202と同一。
01EJ603	社会リハビリテーション	4	1.0	1・2	春C	木7,8	2F講義室9	小澤 温	リハビリテーションを体系的に理解するとともに、その一分野としての社会リハビリテーションの歴史の経過、概念の変遷、定義、基本的理念、実施主体者、実施方法、具体的プログラム等について学習する。	
01EJ604	職業リハビリテーション	4	1.0	1・2	春C	火7,8	2F講義室8	八重田 淳	学校・病院・施設・在宅等から職場への移行、ジョブコーチング、職場開拓、自立生活、サービス管理、ケース管理、事業評価、人的資源管理等を総合的にコーディネートする職業リハビリテーション専門職の役割と機能を学ぶ。	
01EJ659	地域リハビリテーション	4	2.0	1・2	春AB	木7,8	2F講義室9	小澤 温	障害のある市民が地域社会の一構成員として、社会に参加し自己実現を果していくために必要な地域リハビリテーションのサービスシステムを検討し、現状と課題を学習する。	
01EJ607	リハビリテーションカウンセリング	4	1.0	1・2	秋AB	火7,8	2F講義室9	八重田 淳	リハビリテーション研究者・管理職・教育者・実践者として活躍するアメリカの公認リハビリテーションカウンセラーの大学院教育模擬授業を行う。リハビリテーションに関するディベート力、企画力、英語力の習得を目指す。	
01EJ608	視覚障害学特論	1	2.0	1・2	春AB	火7,8	2F講義室9	佐島 毅	目的・ねらい:本講義では、視覚障害の正しい理解と、それに基づく指導・支援の方向について考える視点を明確に持つことをねらいとする。 授業概要:視覚障害児・者の感覚・知覚・認知の特性を概観し、医学的・心理学的視点を含めて包括的に発達、学習、教育支援の視点を学ぶ。 キーワード:視覚障害 弱視 盲	OATE308と同一。
01EJ611	運動障害学特論	1	2.0	1・2	春AB	金7,8	2F講義室8	川間 健之介	目的・ねらい:運動障害のある人のリハビリテーションのアプローチについて説明できる。 授業概要:運動障害児(者)のリハビリテーションに関するアセスメントとインターベンションに焦点を当てて、医学的・教育的・心理学的側面から学習する。 キーワード:運動障害、リハビリテーション	OATE311と同一。
01EJ613	知的障害学特論	1	2.0	1・2	秋AB	金7,8	2F講義室9	小島 道生, 小澤 温	目的・ねらい:知的障害に関して、教育および福祉の理念、心理的アセスメント、指導法の理論的背景と概要が理解でき、具体的な支援方法を考えることができることを目標とする。 授業概要:知的障害の心理や認知特性、教育課程や指導法、そして福祉制度ならびに評価や支援の実践について概説する。 キーワード:知的障害、認知特性、教育課程、福祉制度、支援方法	OATE312と同一。 ・講義の一部を集中講義にて実施予定。日時が決定次第、筑波大学東京キャンパス在生サイト< http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/ >に掲示します。
01EJ614	精神障害学特論	4	2.0	1・2	秋B	集中	2F講義室8	河野 禎之	超高齢社会である現代において重大な疾患となっている「認知症」について、臨床的・実践的な講義を行うとともに、医療/福祉領域に限らず認知症を「社会的課題」として捉えるアプローチである「Dementia Friendly Community」について最新の知見を学ぶ。また、かつて精神障害として扱われてきた歴史のある「セクシュアル・マイノリティ」「SOGI/LGBT+」に関して、その脱病理化の流れや最新の社会情勢、具体的な対応の実践について学ぶ。さらに、授業でグループワークを重ねることで、これらの課題について自らがどのように考え、どのように行動するのか、プロフェッショナルとして主体性を発揮できるようになることを目指す。	開講時間帯は10:20~17:50。
01EJ636	健康障害学特論	1	1.0	1・2	通年	集中		川間 健之介	目的・ねらい:各種疾患や社会の諸問題についての理解を深め、リハビリテーションの実践能力を高める。 授業概要:健康障害を有する者および高齢者および健康障害を有する者をめぐる諸問題を多面的に検討し、包括的なリハビリテーションのあり方を考察する。 キーワード:脳血管障害、神経疾患、老化、高齢者	OATE315と同一。 ・日程等の詳細未定。決定後、筑波大学東京キャンパス在生サイト< http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/ >で周知します。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EJ637	高齢障害学特論	1	1.0	1・2	秋AB	木7,8	2F講義室9	山田 実	目的・ねらい:高齢者をめぐる諸問題についての理解を深め、リハビリテーションの実践能力を高める。 授業概要:高齢者をめぐる諸問題を多面的に検討し、包括的なりハビリテーションのあり方を考察する。 キーワード:老化、高齢者、虚弱	OATE316と同一。
01EJ661	発達障害学特論	1	2.0	1・2	春AB	火7,8	2F講義室8	熊谷 恵子	目的・ねらい:発達障害を理解し、通常の学校にいる子ども達がどのように支援されるべきかについて学ぶ。 授業概要:発達障害を理解する上で必要となる心理学的な知識(認知的な特徴、発達、行動等)、学習上での特徴を取り上げ、さらに、支援のための通常学校でのシステム、教育相談など、指導につなげるためのリソースについても講義する。 キーワード:発達障害、学習障害(症)LD、注意欠如多動障害(症)ADHD、自閉スペクトラム障害(症)	OATE317と同一。
01EJ616	リハビリテーション特論I	1	1.0	1・2	秋AB	土4,5	2F講義室9	生涯発達専攻_リハビリテーションコース_教員	リハビリテーションおよび障害科学の各領域における研究課題や研究方法について概説し、最新の研究動向やトピックを紹介する。	隔週開講
01EJ639	特別支援教育授業論	1	1.0	1・2	秋AB	金7	2F講義室8	川間 健之介, 佐島 毅, 米田 宏樹	目的・ねらい:特別支援教育における学級経営や指導計画の立案、授業実践の方法について理解する。 授業概要:特別支援教育の理念に基づき、特別支援学校及び小中学校特別支援学級における学校体制、学級経営、指導計画の立案・作成と評価、授業実践の在り方について考究する。 キーワード:学級経営、個別指導計画、授業評価、授業実践、教材研究	受講は「特別支援学校教諭 専修免許状」取得予定者に限る OATE301と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ640	特別支援教育教育課程論	1	1.0	1・2	秋AB	金8	2F講義室8	川間 健之介, 佐島 毅, 米田 宏樹	目的・ねらい: ・学校の社会的役割にもとづく教育課程の編成を考える。 ・教育課程編成に関わる法令・規定等を理解する。 ・特別支援教育における教材論・学習指導の原理等の特徴を知る。 ・各障害別の教育課程の編成や授業実践の特徴を知り、重複障害教育における教育課程を考える。 授業概要:障害児教育における教育課程編成の原理と実際について概説する。とくに、障害の重度化、重複化あるいは多様化の中で、法令や学習指導要領に規定される特例を用いた弾力的な教育課程の編成について整理し、特別支援教育における教育課程の編成及び教育課程開発の在り方について考究する。 キーワード:教育課程編成、学習指導要領、指導原理	受講は「特別支援学校教諭 専修免許状」取得予定者に限る OATE302と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ641	特別支援教育コーディネーター論	1	1.0	1・2	春BC	集中	2F講義室9	熊谷 恵子	特別支援学校および小・中学校における特別支援教育コーディネーターの役割と専門性、学校間の協力体制の構築、校内支援体制の構築、コーディネーターの育成について取りあげ講義するとともに、特別支援教育コーディネーターの実際について学ぶ。	受講は「発達障害学特論」の受講者に限る。 開講時間帯は10:20~17:50。
01EJ643	職業指導論	1	1.0	1・2	通年	随時		八重田 淳	目的・ねらい:障害児の職業指導に関する必要な知識を取得し、学校卒業後の職業生活に関する種々の制度等について理解する。 授業概要:障害児・者の雇用と就労に関する国内外の動向と法制度の概要、就労支援サービス利用者のニーズ、就労支援・職業リハビリテーション関連機関と関連専門職の役割と機能、就労支援のプロセスと就労支援技術、医療・教育分野との連携について述べる。 キーワード:職業指導、キャリア開発、キャリア教育	受講は「特別支援学校教諭 専修免許状」取得予定者に限る OATE305と同一。
01EJ658	障害者福祉論	4	1.0	1・2	春C	随時		小澤 温	障害および障害者の社会福祉学における概念を理解し、障害者福祉の理念、思想、歴史を理解する。さらに、障害者の生活実態とその生活を取り巻く環境を理解する。障害者自立支援法と関連する諸制度に関する理解を深め、障害者支援に関して学習する。	受講は「特別支援学校教諭 専修免許状」取得予定者に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01EJ618	リハビリテーション事例研究		2	2.0	1・2	秋AB	土6.7	2F講義室9	リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	目的・ねらい:事例報告やディスカッションを通じ、それぞれの専門領域における実践技術の向上、他領域の実践を知ることによりリハビリテーションへの理解を深めることを目的とする。 授業概要:リハビリテーションの観点から事例を検討し、リハビリテーションにおける連携の諸問題について理解を深め、相談援助のための知識・技術を修得する。 キーワード:事例研究、ケーススタディ、連携事例	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る OATE306と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ644	特別支援教育事例研究		2	2.0	1・2	通年	随時	リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	目的・ねらい:障害児・者等の事例報告やディスカッションを通じ、それぞれの専門領域における実践技術の向上、他領域の実践への包括的理解を深めることを目的とする。 授業概要:障害児・者等の事例を検討し、事例を中心とした各領域・職種間における連携の諸問題について理解を深めるとともに、相談援助のための知識・技術を修得する。 履修条件:専修免許取得予定者に限る キーワード:事例研究、ケーススタディ、連携、移行支援	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生で、「特別支援学校教諭 専修免許状」取得予定者に限る OATE307と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。	
01EJ619	リハビリテーション課題研究		2	1.0	1・2	通年	随時	リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	目的・ねらい:得られた研究成果について全国規模の学会や研究会で発表し、研究論文を学術誌に投稿することで、それぞれの専門領域における研究課題について研究力向上を図る。 授業概要:当年度春学期開始後(2年次の院生は12月1日以降)になされた各自の関連学会等においての発表をもとに、その際の議論に基づいて、研究を深める。また、この発表をもとに学会誌等へ論文を投稿する。 キーワード:学会発表、論文の投稿	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る OATE325と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。	
01EJ629	統計学I		4	2.0	1・2	春AB	土6.7	2F講義室9	川間 健之介, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実	記述統計及び推測統計の基礎を学び、研究デザインに応じた統計解析の手法を選択する力を養う。2学期の「統計学II」(集中)の前段としての科目。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る
01EJ630	統計学II		2	1.0	1・2	夏季休業中	集中	1F120講義室	山田 実	リハビリテーション領域で使われる統計を中心に実習する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る。開講時間帯は10:20~17:50。
01EJ656	リハビリテーション英語		4	1.0	1・2	春C	金7.8	2F講義室8	八重田 淳	リハビリテーション英語論文読解能力の向上、適切な英語タイトルのつけ方、妥当な英語キーワードの選び方、簡潔な英文アブストラクトの書き方、国際学会発表の実践練習、ネイティブによる英語授業参加(Eラーニング)等を通じて、リハビリテーションをグローバルに学ぶ機会を提供する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る
01EJ645	視覚障害学演習		2	1.0	1・2	通年	随時	佐島 毅	目的・ねらい:視覚障害教育、医療、福祉、リハビリテーションにおける今日的課題と、その実際における問題発見能力や問題解決能力、さらにそれを研究として深め発表する能力などを身につける。 授業概要:視覚障害教育、医療、福祉、リハビリテーションに関する内外の文献及び実際例をもとに、医学的・教育的・心理学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。 キーワード:視覚障害 弱視 盲	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る OATE318と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。	
01EJ648	運動障害学演習		1	1.0	1・2	秋C	随時	川間 健之介	運動障害教育、医療、福祉、リハビリテーションに関する内外の文献及び実際例をもとに、医学的・教育的・心理学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る	
01EJ649	健康障害学演習		2	1.0	1・2	秋C	随時	山田 実	健康教育、医療、福祉、リハビリテーションに関する内外の文献及び実際例をもとに、医学的・教育的・心理学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EJ650	高齢障害学演習	2	1.0	1・2	通年	随時		山田 実	目的・ねらい:高齢期におけるさまざまな障害の医学的背景についての理解を深め、あわせてリハビリテーションに関係する医療・福祉制度や倫理的課題についても学ぶことにより、包括的なリハビリテーションを実践する能力を身につけることを目的とする。リハビリテーションに関わるさまざまな職種間の理解を深める場としたい。 授業概要:高齢期におけるさまざまな障害のリハビリテーションをめぐる今日的課題について、事例及び文献を通して理論的・実践的に考察する。 キーワード:高齢障害、虚弱、リハビリテーション	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る OATE320と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ651	知的障害学演習	2	1.0	1・2	秋C	随時		小澤 温, 小島 道生	知的障害教育、医療、福祉、リハビリテーションに関する内外の文献及び実際例をもとに、医学的・教育的・心理学的・社会福祉学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る
01EJ652	発達障害学演習	2	1.0	1・2	通年	随時7,8		熊谷 恵子	目的・ねらい:発達障害教育、医療、福祉、リハビリテーションにおける今日的課題の観点から、子どもの観察や支援における問題発見能力や問題解決能力、さらにそれを研究として深め発表する能力などを身につける。 授業概要:発達障害児者の学校場面における様子を観察する時のポイントについて学んだ上で、主に教育相談室に入室した発達障害の子どもの面接(初回面接ならびに学習支援やSSTなど)に立ち会うなどし、子ども達のニーズを把握するために重要な観察ポイントを学ぶ。それを踏まえて、論文に書かれている子ども達の実態をイメージできるようにする。 キーワード:学習障害(症)LD、注意欠如多動性障害(症)ADHD、高機能自閉スペクトラム症ASD、発達障害	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る OATE321と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ653	精神障害学演習	4	1.0	1・2	秋C	随時		河野 禎之	精神障害教育、医療、福祉、リハビリテーションに関する内外の文献及び実際例をもとに、医学的・教育的・心理学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る
01EJ654	社会リハビリテーション演習	2	1.0	1・2	通年	随時		小澤 温	目的・ねらい:社会リハビリテーションの理論と内容、方法、具体的な実践活動を理解し、実践における応用力を学ぶ。 授業概要:社会リハビリテーションの理論に基づいて、社会生活力を高める各種プログラムや、機会均等化、環境改善を進めるための具体的な実践方法や課題を学ぶ。 キーワード:社会リハビリテーション、社会生活力、ソーシャルスキル、エンパワメント、社会環境改善	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る OATE322と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ655	職業リハビリテーション演習	4	1.0	1・2	秋C	随時		八重田 淳	働き甲斐(Quality of Working Life)と就労継続要因の研究、リハビリテーション専門職の役割研究、リハビリテーション専門職の教育カリキュラム研究などを通じて、研究設問及び研究デザインについて学ぶ。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る
01EJ631	リハビリテーション特殊講義I	1	1.0	1・2	春C	集中	2F講義室9	砂見 緩子	リハビリテーションにおける今日的課題を取り上げて、理論と実践の両面から講ずる。	開講時間帯は10:30~17:30。
01EJ632	リハビリテーション特殊講義II	1	1.0	1・2	通年	集中			リハビリテーションにおける今日的課題を取り上げて、理論と実践の両面から講ずる。	
01EJ633	リハビリテーション特殊講義III	1	1.0	1・2	通年	集中			リハビリテーションにおける今日的課題を取り上げて、理論と実践の両面から講ずる。	